事業者向け　放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			放デイの広さとしては狭くはないと思う。障害特性、相性により部屋分け、活動分けを行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	7			職員配置は国の規準を上回って配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1		床のバリアフリーはされているが、扉、廊下は車いすが通るには狭く移動に危険が伴う時がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			会社ホームページで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			7	今後、評価して頂けるようにしていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1		社外研修、社内研修を今まで以上に充実させていきたい。
適切	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			担当職員が立案し、ミーティングで共有。意見があれば取り入れている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			固定して定期的に行っているプログラムがある。以外は、新しいものを取り入れ工夫している。

な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			土曜、祝日、長期休みの活動内容は早めに計画を立て、普段経験できない活動に力を入れている。 長期休みには同法人の就労事業所で就労体験を行っている。また同法人の放デイと合同イベントを行い交流を測っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			翌日の午前の時間を使って行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	7			ガイドラインを職員で周知していく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			児童発達支援管理責任者、担当職員が参加するようにしている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			学校から家庭に配布される予定表のコピーをもらっている。 時間確定後にダブルチック実施。 確認が必要な家庭にはこまめに連絡を入れるようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			7	該当児童無し
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			7	相談支援事業所を介する事が多く、直接保育所、こども園、児童発達支援事業所との連携は少ない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			7	高校を卒業した児童がいない。 今後、卒業利用児童を迎える際には情報を提供していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			発達支援センター主催の研修参加。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7			図書館、地域の公園を利用する事がよくある。 長期休みに職員の子どもが遊びに来ることがある。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	7			管理者のみが参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			連絡ノート、送迎時の引き渡し時の時間を大事にしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか	7			保護者より相談があれば支援している。
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			契約時に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			年に2回保護者面談実施。 希望があれば随時面談実施。 電話での相談も受け付けている

責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			7	今年度は実施できなかった。来年度は実施したい。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			迅速に対応する事を心掛けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			Instagram・Facebookで発信している。 事業所お便りを春・夏・秋・冬で作成している。
	35	個人情報に十分注意しているか	7			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			外国籍の方の書類はひらがな・ローマ字にしている。 通訳の立ち合い。翻訳アプリの活用。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			7	今後、取り組んでいきたい。（地域清掃活動）
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			ファイリングし誰でも見れるようにしている。 今後は、定期的に全員で確認する時間を作っていきたい。 気象災害に対する対応は比較的多く発生する為、見れるところに掲示している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			毎月行っている。（火災・地震・津波・不審者） 今年度は初めての試みで事業所で保護者に引き渡し訓練を実施した。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			社内研修会の実施。 社外研修の実施。 自己チェックの実施。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			契約時の重要事項に記載されている為、説明している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			おやつ、イベントでのクッキング、外食体験時に保護者に確認し、アレルギーのある児童に関しては十分注意している。※医師の指示所が出る程の重症なアレルギーを持っている児童はいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			ヒヤリ・事故報告書の作成と共有ミーティングを実施している。